

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

- 平成28年度実施の全国学力・学習状況調査(以下「全国調査」)では、漢字の読み書き、計算など基礎的な問題の正答率が高いことが分かりました。これは、朝学習や家庭学習で漢字の読み書きや計算練習に取り組んできた成果だと考えています。
- 算数Aの平均正答率は、全国平均・県平均を上回ることができたことも分かりました。これは、朝学習では、担任と担任以外の教員が2人組になって、算数の文章問題を中心に指導してきた成果だと考えています。
- 質問紙調査の結果から、「朝食を食べているか」の質問には全員が肯定的な回答でした。「同じ時刻に寝ているか」「同じ時刻に起きているか」の質問にも肯定的な回答が多かったです。また、「学校の宿題をしていますか」の質問に肯定的な回答が全国平均・県平均を上回っていることが分かりました。「生活ふり返りカード」を利用して、早寝早起き朝ご飯や家庭学習の習慣化に取り組んできた成果だと考えています。

課題と対応

- 国語科では、ローマ字の読み書きに課題があることが分かりました。第3学年のローマ字学習にとどまらず、パソコンを使って文字入力をする機会を増やすことで、日常的にローマ字の習得ができるように指導していきます。また、「定められた言葉を入れる」、「資料を取り上げる」、「字数の制限がある」といった条件を満たして自分の考えを書くことに課題があることが明らかになりました。そこで、今まで以上に「書かせる」授業に取り組み、いろいろな場面で、設定された条件のなかで自分の思いや考えを書く活動を増やしていきたいと考えています。また、朝学習でプリントを使って条件を満たして書くことの指導を積み重ねていこうと考えています。
- 算数科では、理由を記述する問題に課題があることが分かりました。授業のなかで、論理的に考え、それを説明する機会を増やすとともに、苦手な内容について繰り返し学習することができるようにプリントなどの課題をより充実させていきたいと考えています。
- 質問紙調査より、家庭学習の時間がかなり短いことや計画を立てて勉強をしている割合が低いことが分かりました。そこで、家庭学習カレンダーを作成し、学習時間や内容の計画を立てて家庭学習を行う習慣をつけようと考えています。毎月一週間、家庭学習カレンダー一週間を設けます。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国調査の結果から、昨年度に引き続き、家庭学習の時間が短く、家庭でのテレビ・ビデオ・DVDの視聴時間やテレビゲームをする時間がかなり多いことが分かりました。本年度から「家庭学習カレンダー」を作成し、毎月一週間、家庭学習カレンダー一週間を設けています。「家庭学習の手引き」を使って、学校で自主学習の仕方を指導していきます。また、2～5年生が行った標準学力調査のデータベースを使って、1～6年までのいろいろな問題プリントを用意し、子どもたちが自分の苦手とする内容のプリントを持ち帰って家庭学習ができるようにしました。子どもたちが意欲をもって学習を進めていけるようご家庭でも声をかけてください。興除中学校区では、青少年育成協議会が中心となって、「メディアコントロール」の取組をしています。家庭と共に地域の皆様方のご協力をお願いいたします。